

高橋保男一代記



平成20年(2008)7月

わがふるさは江戸川区、
小松菜の里 松江なり..
むかし 蓮田の その奥に
荒川 面(かわも)に 霞む 釣りの船。

ほうずき、 朝顔、 吊りしのぶ、
金魚に 風鈴、 飾り物..
江戸 縁日の 粹を 守る、
鹿骨(ししぼね)の 地も 近くして。

昭和十五年 お正月、
高橋 保男は 誕生..
七人兄弟の 五男坊、
家は 船宿 高橋丸。

(五男二女)

(船宿は現在、中川べりに移転)

空襲

闇に弾ける焼夷弾、
父母(おや)が手を引く逃避行..
背中(せな)で夢見るわが頬を
濡らすは安堵の涙なり。

父は言うよう、B29の
荒川沖に墜落す..
屍(かばね)は憎つくき敵(てき)ながら、
白き肌えの哀れなり。

国敗れても山河残り
帝都はなべて焼け野原..
幸い一家はつつがなく、
平和な御世の釣りの宿。

幼少時代

ジープの兵の贈りもの、（戦後、進駐軍の兵隊）
チューイングガムにチョコレート..
ハロー、サンキューの片言（かたこと）も
卑屈にやならぬわが笑顔。

犬に兎に亀、ねずみ、
鄙（ひな）の童（わらべ）の日々の友..
可愛い子猫が失せし時、
訪ねあぐねて土手の上。

（中川土手）

無残や赤きまる裸、

（若い猫の皮は三味線に最適）

三味線の皮の生贄か..
ただ欲のため殺生す、
人の世なりと悔（くや）しけれ。

下町の子、習いにて、
親の手間さえ要らぬ日々..
探検、魚つり、草野球、
夢の間に過ぐ十数年。

父と母

父は船頭、日焼け面(かお)、
仕事一筋の子煩悩..
母はか細き器量よし..
七人の子を慈(いつく)しみぬ。

忘れぬ初の給料日、
抱えて帰るマットレス..
驚きつつもほほえみし、
病身(やまい)の母のあの瞳。

思い出の先生

ある日 入り来る 学生帽、

(予備教員、名前は羽鳥先生)

熱意 溢るる 教えぶり..
医師 志す 若者の
その 凛々(りり) しさに 打たれたり。

休日 ごとの ハイキング、

(休日、四、五人で高尾山へ行く)

広き 世界に 導きし..
これ 憧れの 先生(きょうし) 像..
わが 行く道の 定まりぬ。

大学時代

十八(歳)、試験の
東京理科大に進み
数学教師の養成所、
幼き夢へ第一歩。

(昭和三十三年)

初めて暮らす下宿宿、
家族に離るる寂しさよ..
思えば間近(まじか)き
名も賑わしき神楽坂の

化学教室で明け暮れて、

(理学部化学科の授業)

等しく学ぶ四年間..
教員免許も手にしたり、

幼き夢はいま成りぬ。
(高校化学、中学数学と化学の教員免許)

コンクリートとの出会い

米国雑誌に見る記事に、セメントの三割が生コンへ..
わが国とても同じ道、その規模 何と 1兆円。

先輩の誘いに就職す、

(昭和37年生コン製造、上陽工業入社)

生コン工場の試験室..
日々に踏み入る道の奥、
終生の仕事となりにけり。

常に学習、新工夫、
コンクリート技士の一期生..

(昭和40年第一回に合格)

苦痛を救う洗浄機、

(ミキサ自動洗浄機を発案)

世に先立ちて発明す。

ばらつき、
生コンの
技術者の
現場に
強度
信用
足らず、
叱咤
と
未だ
の地
位
ならず..
声低く、
高し。
量不足、

生コン工場への指導

長谷工の監督 日々言うよう、
生コンの質を上げるべし..
君は技術の人なれば、
工場を巡り 伝えよや。

(長谷工との出会い)

ここに 悟りし わが使命、
民間試験場を 打ち立てん..
先ずは 準備の 三年間、
技術を 伝う コンサル業。

(試験業務への決心)

(生コンのコンサル業)

生コン 規格の A B C、
工程管理の そのいろは..
二百工場を 巡る時、
みるみる 上がる その効果。

「長谷工の生コンは天下二、

(信用を得る)

その評判の誇らしや..

縁の下の力持ち

しみじみ味わう充足感。

さらに嬉しや、今よりは

テストピースも取りたまえ..

人生すごく上がり目の、

道を振り出す時の来て。

試験業務

念願叶いて 試験棟、

(昭和53年 有限会社 設立)

埼玉、三郷に 三十坪..
五人の社員、バン 一台、
日東 コンクリート 技術 事務所。

民間 試験 は 三社のみ、
複合、三友、そして われ..

(複合材料研究所、三友エンジニアリング)

これ 日本での 先駆 なり、
時に 昭和の 五十三(年)。

現場の 作業は 力わざ、
両手に 重き 供試体..
十階より 下る その 苦労、
やじろべえ とも わが 姿。

そのお陰ぞと、今は知る、
鍛えしかいなの力こぶ..
友とゴルフの折々に、
他人にや負けぬ飛びっぷり。

夜明けと共に家を出(い)で、

(少数精鋭の忙しさ)

ひねもす現場の試料取り..
夜更けて賑わう試験室、
少数精鋭の草創期。
さらに深まる信用は

(昭和六十二年、都知事認証)

リストアップやISO..

(平成十五年ISO9002、十八年、17

025取得など)

挫折を知らぬ前進に、
やがて手狭なこの住まい。

理念（不正への処断）

わが社は 天下の平（へい）なりき、

（天下の天秤・公平に正邪を判定）

公平 無私があるばかり..
仮にも 負けて 欺（あざむ）かば、
その日のうちに 解雇なり。

追放 なせし その人は、
泣きつ 悔やみつ 縊（すが）りたり..
我は 聞こえん 素振りして、
心の 涙を 隠したり。

一つ 不正が 命取り、
ここが 試験の 試験業..
社長たる 身を 呪いつつ、
君 去るべしと また 告げぬ。

犬好き

「お願いします」の置き手紙、
うなだれ泣くや犬ひとり..
なにとて捨つる人やあるー..
必ず救う人のあり。

明日(あす)は処分の犬なりと、
聞きて引かれぬわが意気地..
べらぼうめ、江戸っ子だい、
船頭の子だい、俺が飼(か)わあ。

三十周年

ようよう わが城の 完成し、

今日は 創業 三十年..

(平成十八年、
平成二十年、会長に
新社屋完成)

父の 手となり 働きし、
長男 光広が 新社長。

業(きよう)を 開拓(ひろ)ぐる 才(さい)ありて、

鳶(とび)が 鷹(たか) 産む 頼もしさ..

仕事に のみの 者 ならで、
花をも 愛(め)ずる ゆとり あり。

(草月流 師範.. 高橋菖幻)

わが社の 大は 誇らね ど、

自慢は 仕事 の 誠 なり..

不正は 通(つう)じぬ 意地っぱり、

これ 日東の 伝統ぞ。

きみ 努力 せよ その 責務、
豊かな 日々は 保証 せん..
社員に 誓う わが言葉、
今に 違えし ことは 無し。

暮れて 賑わう 正門に、
戻る 車が 七つ 八つ..

昨日(きのう)の ごとく 今日が 行き、
今日に 変らぬ 明日 ならん。

(常時七十台超が稼動)

感慨

窓辺に 伸びる 高速の

白亜に 光る 防御壁..

コンクリート は 誇らしや、

この 目に 眩(まぶ)し、 懐かしし。

(外環高速道、完成)

夜々(よよ)に 振り向く 走馬灯、
昔の 顔の 巡り来ぬ..
友には 感謝の 礼言わん、
親には 感謝の 涙せん。

***** 終わり (2008年7月9日)

